

## 要点整理

会議名	第3回 五泉市総合計画市民まちづくり会議																																																																																																
年月日	令和7年11月11日(火) 10:00~12:10																																																																																																
会場	村松支所 1階 会議室1																																																																																																
出席者	<p><b>【参加者】</b> (委員) 27名(5名欠席)</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: left;">番号</th> <th style="text-align: left;">所属</th> <th style="text-align: left;">氏名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>五泉商工会議所</td><td>吉田 紀子</td></tr> <tr><td>2</td><td>村松商工会</td><td>今井 将人 (欠席)</td></tr> <tr><td>3</td><td>五泉織物工業協同組合</td><td>横野 恒明 (欠席)</td></tr> <tr><td>4</td><td>五泉ニット工業協同組合</td><td>桜井 洋一 (欠席)</td></tr> <tr><td>5</td><td>五泉市観光協会</td><td>早福 亮</td></tr> <tr><td>6</td><td>咲花温泉観光協会</td><td>岡崎 昭彦</td></tr> <tr><td>7</td><td>五泉市建設業協会</td><td>横山 昇</td></tr> <tr><td>8</td><td>五泉地区認定農業者会</td><td>松澤 克</td></tr> <tr><td>9</td><td>村松地区認定農業者会議</td><td>松尾 一</td></tr> <tr><td>10</td><td>新潟県新潟地域振興局</td><td>加口 智一</td></tr> <tr><td>11</td><td>五泉市校長会</td><td>小野 裕子</td></tr> <tr><td>12</td><td>P T A連絡協議会</td><td>小野澤 康洋 (欠席)</td></tr> <tr><td>13</td><td>五泉市文化協会</td><td>石川 史嗣</td></tr> <tr><td>14</td><td>五泉市スポーツ協会</td><td>大槻 彰吉</td></tr> <tr><td>15</td><td>新潟大学農学部</td><td>長谷川 英夫 : 副会長</td></tr> <tr><td>16</td><td>新潟医療福祉大学</td><td>丸田 秋男 : 会長</td></tr> <tr><td>17</td><td>開志専門職大学</td><td>藤巻 佐和子 (欠席)</td></tr> <tr><td>18</td><td>五泉市金融団・村松金融団</td><td>渡部 良</td></tr> <tr><td>19</td><td>連合五泉支部</td><td>阿部 洋志</td></tr> <tr><td>20</td><td>株式会社新潟日報社</td><td>阿部 慎一</td></tr> <tr><td>21</td><td>新津五泉不動産業協会</td><td>高岡 孝郎</td></tr> <tr><td>22</td><td>母子保健推進員の会</td><td>長谷川 智美</td></tr> <tr><td>23</td><td>障がい者総合支援協議会</td><td>見原 真</td></tr> <tr><td>24</td><td>老人クラブ連合会</td><td>熊倉 信昭</td></tr> <tr><td>25</td><td>五泉阿賀青年会議所</td><td>長谷川 祐哉</td></tr> <tr><td>26</td><td>公募委員</td><td>高橋 哲</td></tr> <tr><td>27</td><td>公募委員</td><td>原 健一</td></tr> </tbody> </table> <p>(事務局)</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tbody> <tr><td>企画政策課 課長</td><td>落合 忠宏</td></tr> <tr><td>企画政策課 課長補佐</td><td>吉井 総信</td></tr> <tr><td>企画政策課 企画政策係長</td><td>井上 和巳</td></tr> <tr><td>企画政策課 主査</td><td>吉田 歩美</td></tr> <tr><td>企画政策課 主事</td><td>高橋 彩</td></tr> <tr><td>エヌシーイー株式会社</td><td>中澤 元孝、手塚 岳</td></tr> </tbody> </table> <p><b>【資料】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・次第</li> <li>・名簿</li> </ul>	番号	所属	氏名	1	五泉商工会議所	吉田 紀子	2	村松商工会	今井 将人 (欠席)	3	五泉織物工業協同組合	横野 恒明 (欠席)	4	五泉ニット工業協同組合	桜井 洋一 (欠席)	5	五泉市観光協会	早福 亮	6	咲花温泉観光協会	岡崎 昭彦	7	五泉市建設業協会	横山 昇	8	五泉地区認定農業者会	松澤 克	9	村松地区認定農業者会議	松尾 一	10	新潟県新潟地域振興局	加口 智一	11	五泉市校長会	小野 裕子	12	P T A連絡協議会	小野澤 康洋 (欠席)	13	五泉市文化協会	石川 史嗣	14	五泉市スポーツ協会	大槻 彰吉	15	新潟大学農学部	長谷川 英夫 : 副会長	16	新潟医療福祉大学	丸田 秋男 : 会長	17	開志専門職大学	藤巻 佐和子 (欠席)	18	五泉市金融団・村松金融団	渡部 良	19	連合五泉支部	阿部 洋志	20	株式会社新潟日報社	阿部 慎一	21	新津五泉不動産業協会	高岡 孝郎	22	母子保健推進員の会	長谷川 智美	23	障がい者総合支援協議会	見原 真	24	老人クラブ連合会	熊倉 信昭	25	五泉阿賀青年会議所	長谷川 祐哉	26	公募委員	高橋 哲	27	公募委員	原 健一	企画政策課 課長	落合 忠宏	企画政策課 課長補佐	吉井 総信	企画政策課 企画政策係長	井上 和巳	企画政策課 主査	吉田 歩美	企画政策課 主事	高橋 彩	エヌシーイー株式会社	中澤 元孝、手塚 岳
番号	所属	氏名																																																																																															
1	五泉商工会議所	吉田 紀子																																																																																															
2	村松商工会	今井 将人 (欠席)																																																																																															
3	五泉織物工業協同組合	横野 恒明 (欠席)																																																																																															
4	五泉ニット工業協同組合	桜井 洋一 (欠席)																																																																																															
5	五泉市観光協会	早福 亮																																																																																															
6	咲花温泉観光協会	岡崎 昭彦																																																																																															
7	五泉市建設業協会	横山 昇																																																																																															
8	五泉地区認定農業者会	松澤 克																																																																																															
9	村松地区認定農業者会議	松尾 一																																																																																															
10	新潟県新潟地域振興局	加口 智一																																																																																															
11	五泉市校長会	小野 裕子																																																																																															
12	P T A連絡協議会	小野澤 康洋 (欠席)																																																																																															
13	五泉市文化協会	石川 史嗣																																																																																															
14	五泉市スポーツ協会	大槻 彰吉																																																																																															
15	新潟大学農学部	長谷川 英夫 : 副会長																																																																																															
16	新潟医療福祉大学	丸田 秋男 : 会長																																																																																															
17	開志専門職大学	藤巻 佐和子 (欠席)																																																																																															
18	五泉市金融団・村松金融団	渡部 良																																																																																															
19	連合五泉支部	阿部 洋志																																																																																															
20	株式会社新潟日報社	阿部 慎一																																																																																															
21	新津五泉不動産業協会	高岡 孝郎																																																																																															
22	母子保健推進員の会	長谷川 智美																																																																																															
23	障がい者総合支援協議会	見原 真																																																																																															
24	老人クラブ連合会	熊倉 信昭																																																																																															
25	五泉阿賀青年会議所	長谷川 祐哉																																																																																															
26	公募委員	高橋 哲																																																																																															
27	公募委員	原 健一																																																																																															
企画政策課 課長	落合 忠宏																																																																																																
企画政策課 課長補佐	吉井 総信																																																																																																
企画政策課 企画政策係長	井上 和巳																																																																																																
企画政策課 主査	吉田 歩美																																																																																																
企画政策課 主事	高橋 彩																																																																																																
エヌシーイー株式会社	中澤 元孝、手塚 岳																																																																																																

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・【資料1】 第2回五泉市総合計画市民まちづくり会議結果報告</li> <li>・【資料2-1】 五泉市政に関する市民意識調査（単純集計）</li> <li>・【資料2-2】 市民ワークショップまとめ</li> <li>・【資料3】 五泉市総合計画市民まちづくり会議の進め方</li> <li>・【作業シート】 特定分野作業シート（記載例含む）</li> <li>・【資料4】 今後の開催予定</li> </ul>
<p>企画政策課 吉井課長補佐</p> <p>企画政策課 吉井課長補佐</p> <p>丸田会長</p> <p>丸田会長</p> <p>丸田会長</p>	<p>1. 開会</p> <p>2. あいさつ（丸田会長）</p> <p>3. 説明</p> <p>①前回のふりかえり【資料1】 説明：企画政策課 井上係長</p> <p>②市民意識調査結果・市民ワークショップ結果【資料2-1,2】 説明：企画政策課 井上係長</p> <p>③本日の作業について【資料3】 説明：エヌシーイー株式会社 中澤 企画政策課 井上係長</p> <p>◆質問・意見なし</p> <p>4. 作業「特定分野提案シートの作成・全体共有」【作業シート】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特定分野提案シートの作成</li> <li>・全体発表</li> <li>・意見交換</li> </ul> <p>（全体発表の内容） ※掲載例：【委員番号 氏名（施策番号 施策名）】，発表順に掲載</p> <p><b>【1 吉田紀子（施策 No28 国際化）】</b> 外国人労働者や技能実習生が生き生き過ごせる環境を目指し、早出川などで多国籍の人が一緒に川遊びを楽しめる未来を描く。国際交流協会に所属しているが、接点は主に ALT に限られ、街中で外国人をあまり見かけない。イングリッシュキャンプや「世界の料理を食べてみよう」（12月に台湾の郷土料理）などはあるものの、ALT や地域おこし協力隊に偏っている。ALT 以外も含め多様な国の人とつながり、世界の食をはじめ交流企画を広げるきっかけにしたい。</p> <p><b>【5 早福亮（施策 No35 地域資源を生かした観光と都市交流）】</b> 目標は交流人口の増加による経済効果の拡大。ラポルテ五泉以外に強い観光資源が少なく、入込はラポルテ五泉 38 万、さくらんど温泉 9.8 万、花木祭 7.2 万、村松公園の桜まつり 2.6 万。国道 403 号からのアクセス道路未整備が致命的。対応としてラポルテ五泉の集客拡大（イベント、物産、飲食機能強化、駐車場拡充）と、新資源造成（五泉本町の吉田邸活用、村松商店街のまち歩き）を進めたい。令和 4 年から 5 年にかけて、道の駅国上は 26 万→48 万、道の駅阿賀野は 36 万→66 万と 2 倍近く入込客数が伸びており、県</p>

内の限られた観光資源を活用していく必要がある。

**【6 岡崎昭彦（施策 No29～34 活気の泉）】**

商工業などで、その時々の人々にわかりやすく浸透する PR とものづくりが重要。作ることが先行し、「どう伝える・どう売るか」「利用者がどう良くなるか」の設計が後回しになりがち。まず利用者の立場に立ち、望ましい姿を定め、その後に PR や販売、プロセス設計を行い、最後に自分たちが提供できる内容へ落とし込むという順序で政策を考えるべき。

**【7 横山昇（施策 No40・42 道路整備・住環境）】**

若者と高齢者が共生する活気あるまちを目指すには、人口減少下で人口をいかに維持・増加させるかが肝心。新潟市など近隣へのアクセス道路の不足と働く場の不足が課題。対策はアクセス道路整備、工業団地整備による企業誘致、大学誘致。参考として山形県鶴岡市のサイエンスパーク（慶應義塾大学誘致、行政・大学・企業・市民の連携）を挙げ、五泉市でも若者と連携し特色ある取り組みで活気あるまちづくりを進めたい。

**【9 松尾一（施策 No32 農業の担い手育成と安定した経営の支援）】**

目標は担い手への農地集積率 80%（現状は令和 2 年で 51%）と、担い手農業者の所得を公務員並みにすること。昨年までの生産者米価では採算がギリギリ。アンケートでは「25 労働環境の整備」「26 農業の振興」が満足度低・重要度高。先進的法人が新潟県の農業経営・就農支援センターを活用し、県・市・JA に加え司法書士、税理士、中小企業診断士、社会保険労務士、経営コンサルタントなどの総合的指導で模範経営を示す。市の試算や補助（ソフトを含む）で担い手を支援してほしい。他県には農業経営就農支援センターの優良事例が多いが、新潟県内は近年事例が少なく、組織が十分動けていない印象のため強化を望む。

**【10 加口智一（施策 No35 地域資源の活用）】**

市民が自分の地域の魅力を自ら発信する未来が望ましい。外から見れば魅力的な資源に市民が気づいていない可能性があり、若者が行政や観光協会にインフルエンサー役を求める一方、若者自身が発信者になる手段もある。市民発信の機運が乏しいと感じ、まず機運醸成に取り組むべきだ。県の観光計画でもインナーブランディング向上を掲げており、五泉市と連携して進めたい。

**【11 小野裕子（施策 No35 地域資源）】**

地元産業の活性化と交流人口増、移住促進を目標とし、来訪手段のない人を拾うため周遊バスを提案する。新潟市からラポルテや商店に単独来訪する人はいるが、アクセスの悪さをバスで補う。大人の修学旅行として「ラウンド五泉」のような名称で、新潟・長岡・東京発を想定し、ニット・シルク工場見学、チューリップ摘み取り、さくらんど温泉などのコースや、子ども向けにラポルテと里芋掘りなどの組合せを考える。東京の方が新潟発のバスがなくなったためにカーブドッチに行かなくなったという声も参考になる。

**【13 石川史嗣（施策 No5 芸術文化活動の推進）】**

五泉市の文化財や美術品の鑑賞・体験を目的に観光客が激増する未来を目指す。既存の文化財資料の見直し、情報発信の強化（市民と市が連携）が必要で、資料館やラポルテでの文化発信も弱いと感じる。十日町の道の駅隣接

の文化財展示施設の例を参考に、施設の再検討や廃校活用も一案。「この市は何もない」という意識を改め、足元の宝を再発見し各自が発信することが重要。観光客増は税収増と課題解決に資する。美術館ができたことで、労働者のまちから文化のまちへ生まれ変わったスペインのビルバオの例も参考に、提携や市の美術施設の再考で人を呼び込みたい。

**【14 大槻彰吉（施策 No4 生涯スポーツ）】**

少子化によるスポーツ人口減少に対応した施設づくりを将来目標とし、スポーツの多様化に対応する指導者育成を強化する。教員の勤務超過を背景に「部活動の地域移行」が文科省からスポーツ庁、県、市町村へと進んでおり、五泉市でも議論中。箱物偏重では対応できないため、運営や活用まで含めて施設の在り方を検討し、今後も提案していく。

**【8 松澤克（施策 No33 生産基盤整備）】**

生産基盤整備の進展と耕作放棄地ゼロを目標とする。農家向けの説明が進まず理解が不足し、現状では手を挙げてもその地域で整備完了まで 15～20 年かかる。県などに働きかけて加速しないと耕作放棄地が増え、小さい田んぼは手間とコストが重み、耕作継続が難しくなる。巻では 10 年先まで圃場整備計画が継続しており、その進め方が気になる。

**【18 渡部良（施策 No35 地域資源を生かした観光と都市交流）】**

目的地にならないと人は集まらないため、五泉に新しい観光コンテンツをはっきり一つ作ることで、賑わい創出と交流人口増加に繋げる。五泉はガンダムにゆかりがあり、2025 年 4 月放映の「ガンダムジークアクス」で鶴巻和哉監督（五泉出身）が大蒲原やエスマートなどの地名を入れ、主人公がニット帽をかぶっている。ガンダムの始祖である富野由悠季監督を盛り立てた小田原市を参考に、鶴巻監督を盛り立てる「アニメ聖地化プロジェクト」で人を惹きつけたい。試算として、年間 5 万人が 1 人 8,000 円消費し、波及効果係数 1.3 なら約 5 億円の経済効果が見込める。

**【19 阿部洋志（施策 No35 地域資源を生かした観光と都市交流）】**

五泉市の地下水を活用した最小限消毒の「美味しい水」を市外・県外に認識してもらうことを目標とする。市外では飲む・使う機会がなく良さが伝わらない。五泉の水で調理した食材のアピールや、ラポルテ五泉などでの水道水イベントを強化する。上下水道局が 3 年前から年数回実施しているイベントを拡充し、パンフレット、ホームページ、SNS で環境負荷や観光客の声も活かして PR していく。

**【20 阿部慎一（施策 No28 国際化に向けた環境づくり）】**

第 2 次五泉市総合計画では国際化の項目が全 50 項目のうち 2 項目と少なく、充実を望む。問題意識は 1 番の吉田委員と同じで、補足として近隣市町村の取組を紹介する。新発田市では地域おこし協力隊の主催で、様々な出身国の参加者が持ち寄った各国の料理を食べながら交流する「ポットラックパーティー」を 4 回開催し、市外からの参加も多い実績がある。また同市で開校した自主夜間中学校には技能実習生や留学生が通い、形を変えた国際交流の場になっている。官だけでなく民間の力が重要で、民間中心の取組を期待する。

**【21 高岡孝郎（施策 No37 移住定住の促進）】**

人口が増加し不自由なく暮らせるまちづくりを目標とする。少子化で子どもが少ない現状では、他市町村からの移住者増や空き家活用が鍵だが、全国で同様の取り組みが進む中、五泉市独自の手厚い補助金が重要だと考える。既にウェルカムファミリー住まいの事業などがあるため、その実行と継続が大切で、リフォームや解体補助など住宅関連の支援も厚くしてほしい。物価上昇で負担が重い中、市の補助金は住民の頼みの綱であり、他市にない支援で補っていただきたい。

**【22 長谷川智美（施策 No12 子育て支援）】**

母子保健推進員として、母親たちは疲弊し孤独や不安を抱え、相談先に頼れず頑張っていると感じる。若い世代に男女とも「子どもはいない」という考えが広がっていることも懸念。必要なのは支援体制の充実に加え、その存在を確実に伝え、「頼ってよい・休んでよい」を周知すること。罪悪感なく支援を活用できれば自己肯定感が高まり、子育てを楽しめるはずだ。参考として、三条市の父母共同での子育て講座や江南区の子ども服・雑貨の無料交換マーケットの取り組みがある。

**【23 見原真（施策 No9 障がいのある人の自立と社会参加への支援）】**

満足度は低いが高重要度は高い分野との認識を踏まえ、10年後の目標は障がい児・障がい者とその家族の well-being の実現。健康、生きがい、良好な人間関係を支える要因として、住まい、就労、意思決定、医療などが重要。現状はニーズの多様化でウェルフェアサービスのパーソナライズ化が進む一方、人材不足が大きな課題。多様なステークホルダーによる共創と他業種連携を進め、ボランティア支援団体やNPOなどインフォーマルな社会資源の創出・育成・支援を進める。市民アンケートでは過去1年のボランティア活動歴なしが約70%で、活動の底上げが必要。サロンやWebコミュニティの活用も期待する。人口が増えなくても活動する人の割合が増えれば地域の活気は増し、人口の安定化につながると考える。コミュニティを一つの枠として考えた上での well-being の視点が大事。

**【24 熊倉信昭（施策 No8 高齢者施策）】**

多くの人がボランティアやスポーツ大会に参加する老人クラブを目指す。現状は役員のなり手がなくクラブが消滅する例があり、会員も五泉市で約220名だが年々減少。スポーツや研修旅行への参加を広げ、会員募集を進めて健康づくりを促したい。

**【25 長谷川祐哉（施策 No12 子育て支援）】**

安心して子どもを産み育てられる環境の実現を目標とする。五泉市の出生率は令和5年度で1.18と低く、目標達成が困難な状況が続くため、より具体的な施策が必要。保育料や医療費、共働き世帯の未満児保育、子どもの遊び場の拡充などに対する不安や要望がある。財源確保にはふるさと納税の活用を拡充すべきで、都城市（第一子から保育料無料、ふるさと納税を財源）や北海道上士幌町の事例を参考にしたい。

**【26 高橋哲（施策 No38 ゴミの資源減量化とリサイクル）】**

剪定枝・刈り草の再資源化施設を市が整備し、肥料化して市民に無料配布することを目標とする（牡丹園での活用も想定）。現状、剪定枝はクリーンセンターで焼却され、CO2排出と資源価値ゼロに加え、今年4月以降の指定

袋制導入で庭を持つ世帯の負担も増えている。市長も5つの政策として挙げているSDGsの姿勢をさらに明確化し、廃棄物処理法上の中間処理施設への補助金や森林環境譲与税を活用して整備を進めたい。埼玉県内の広域事務組合や、三条市の堆肥化事業、燕市の類似事業を参考に、導入をお願いしたい。

【27 原健一（施策 No7 文化財の保護と利活用）】

吉田家住宅の保存・活用を拠点に市街地活性化を図ることを目標とする。現在、活動プロジェクト実行委員会が保存活動を始動し、五泉まちなか応援団の登録や情報発信を通じて市民との連携を進めているが、課題も多く足踏み状態との話を聞く。仮に市に寄贈された場合は改修・インフラ・周辺整備、耐震補強など多額の費用が必要。一方で、地域のシンボルとして教育・観光資源となり、国の登録有形文化財の要件も満たすため登録は見込める。魅力を生かせば観光拠点化やイベント連携による相乗効果が期待できる。参考として、長岡市撰田屋地区、新発田市の蔵春閣、阿賀野市の五十嵐邸ガーデン、小千谷市の西脇家住宅など、各地で歴史的建造物を生かした事例がある。五泉市では羽下の伊藤家住宅、坂田家住宅が登録有形文化財となっているが、市街地から離れており活用が難しい。その点、吉田家住宅は市の中心にあるため、活用の意義が大きいと考える。

【15 長谷川英夫（農業施策全般）】

基幹的農業従事者の減少と高齢化が進み、省力化・スマート農業の導入が急務と考える。私は農業のデジタル化のプログラムディレクターとして研究に従事しており、国のスマート農業実証事業も各地で進むが、五泉市での本格的な動きは聞こえてこない。ドローンや自動水管理の省力効果は実証されており、取り組みがあれば大学としても協力したい。農地の集約は合意形成が難しいが避けられず、米どころは農業生産額が低位にあり複合化が必要。株式会社マイファームの「アグリイノベーション大学校」のような仕組みと協力し、新規就農者を呼び込む可能性もある。五泉は水がきれいで、ラポルテ五泉で改良メダカ販売を見かけ、村松に以前あったサケマス養魚場からも五泉と魚のゆかりを感じる。改良メダカの愛好家を呼び寄せる等、五泉の水環境を生かして人を集める環境づくりに可能性を感じる。

【16 丸田秋男（新規施策：地域福祉の推進／地域共生社会の実現）】

10年後の目標は、包括的かつ総合的な支援体制の構築による地域共生社会の実現。子ども・障がい者・高齢者の施策は重要度が高い一方で満足度が低く、分野横断の包括的支援を展開すべきだ。現状、県内20市のうち地域福祉計画の未策定は五泉市と加茂市の2市のみで、重層的支援体制整備実施計画を含む地域福祉計画の策定を進める必要があると提案する。

（意見交換の内容）

※掲載例：●意見交換のテーマ，発言順に掲載

●水道水の魅力とそのPR

19 阿部さんのお話にあった水について大変共感した。資料①3Pにも21番 水の供給 とあって第2回の会議のときに提案として「五泉市の水は井戸水、”蛇口から天然水” くらいのキャッチで売っても良い」とあるが、五泉の水はほぼ100パーセント井戸水で消毒は最小限。例えば愛媛なら蛇口からみかんジュースと言うので、五泉も本当に美味しい水であれば自信をもって”蛇口から天然水五泉市” くらい掲げていいと考える。

原委員

阿部洋志委員	<p>五泉市の水はご指摘の通り地下水を水源とし、最小限の消毒を施した水道水を利用している。厚生労働省の美味しい水研究会が定める「美味しい水の要件」7項目全てに当てはまっている点も魅力だと考えている。</p>
事務局井上	<p>水についてのご意見ありがとうございます。前回の会議でも「蛇口をひねれば天然水」というキーワードは出ており、アンケートやワークショップでも水道水のおいしさに驚くという意見が多くあった。市民には当たり前のことでも対外的なPRになると感じており、いただいたご意見は市の策定部会に伝えて活用を検討させていただきたい。</p>
横山委員	<p>●圃場整備 農地の件について、先日、県の農地部長と話す機会があった。他地区では圃場整備の話題が出たが、五泉市は今年度、土地改良区としての圃場整備の発注が1件もなかった。高齢化やスマート農業の推進には大規模な圃場化が不可欠であり、この状況を農地部長に伝えたところ、部長も五泉市の発注が様々な指標で見ても少ないことを認め、今後の検討の余地があるとのことだった。市、土地改良区、県議のどこに課題があるかは不明だが、農業を支える重要な事業として計画的に進めていただきたい。</p>
大槻委員	<p>私のいる若宮地区でも基盤整備が入っている。聞くところによると、数年前に相当数の発注があったが、県が「財源がない」という理由で凍結しており、現在は申請できない状態らしい。</p>
横山委員	<p>県内全体で予算がないのは確かだが、その中でも五泉市の仕事が出ておらず、様々な指標で低いという点を問題提起したかった。</p>
長谷川副会長	<p>紹介した三条市では合意形成が進まなかった例がある。一方で亀田郷は早く進みすぎて一筆40アールになった時代があった。また尾崎という地区は合意形成が遅れた結果、基盤整備のトレンドが変わり1ヘクタールの区画になったことで、集積率が99.99%のスマート農業に最適な田んぼとなった。しかし、スマート農機は1台も導入されておらず、これから乾田直播などを導入する段階にある。今はスマート農業への切り替わりの時期だ。五泉市はまだこれから基盤整備ということかもしれないが、市内で農業は大きなウエイトを占めるので、スマート農業を見据えた圃場整備は重要な視点だと思う。</p>
事務局井上	<p>圃場整備についてのご意見ありがとうございます。五泉市の大規模圃場整備は、近年だと約10年前に別所地区で実施した。圃場整備は、地元の合意形成、関係者の費用負担、県の財政状況など様々な要素を総合的に考えて実施される。一番の目的は農地の集約化によるコスト削減であり、今後は担い手の育成確保あるいはそのハード面、ソフト面では生産品目なども含め、市と県で協議しながら進めていくべきだと考えている。</p>
高橋委員	<p>●磐越道インター増設 先ほどの発表でアクセス道路、工場団地、大学誘致の話が出たが、関連して常々思っていることがある。全くの素人感覚だが、磐越道の五泉パーキングにETCのインターを作れないか。関越道には小出や浦佐のパーキングにETCで降りられるインターがあり、先日浦佐で降りてみたら田んぼの真ん中</p>

	<p>だったが、近隣の利便性などを考えて作られているのだろうか。五泉には安田、新津と IC があるが、新しいインターがあれば道路や工場団地にも繋げられるのではないかと。詳しい方がいれば教えてほしい。</p>
横山委員	<p>十何年か前に議会でその案件が出たはず。500 万円ほどのコンサル費用をかけて検討した結果、採算が合わないという判断で却下されたと記憶している。市の方が詳しいと思う。</p>
事務局落合	<p>ずいぶん前の話で担当部署におらず詳しくはわからないが、今おっしゃられた通り、インターを新設する議論が昔あった。費用対効果などを算出した結果、計画に見合わないとして一旦却下された経緯がある。詳しい内容までは存じ上げず申し訳ない。</p>
高橋委員	<p>浦佐のパーキングから降りたところも田んぼの真ん中で、正直あまり経済効果があるとは思えなかったが、地元の方々の要望で作られたのかなと思っていた。経緯はわかりました。</p>
原委員	<p>●アニメ聖地化の取り組み</p> <p>18 番の渡部さんのガンダムの話に大変感動した。私も鶴巻監督の件を書こうと思っていたほどで、経済効果が何億円といった具体的な話も出てきて非常に感銘を受けた。アニメの聖地巡礼で人が動くのは明らかなので、なぜ五泉市は動かないのだろうと思っていたところに渡部さんの提案があり、感激した。</p>
渡部委員	<p>ガンダムはキラコンテンツだが、著作権が非常に難しく直接は使えない。小田原市に電話で聞いた際は「ガンダムをなめないで」と言われたほどだ。小田原市はガンダム名義ではなく、富野監督の生誕地として盛り上げている。五泉市には鶴巻和哉監督がいる。鶴巻監督は『新世紀エヴァンゲリオン』で庵野監督の右腕として全国に名がとどろく監督で、五泉出身。彼の作品にはニット帽など五泉・村松の要素を遊び心で入れてくれている。以前、市長に話したら「彼はビジネスに興味がないよ」という感じだったが、地域出身者を応援する形ならビジネスになるはず。一番簡単なのはマンホールで、バンダイやサンライズの協力でガンダムのマンホールを置くだけで全国から人が来る。例えば赤い「シャア専用ズゴック」のマンホールを散りばめるだけで、何万人もが聖地として訪れ、お金を落としてくれる。作中に出てくる地名のマップを置くだけで聖地巡礼者は回遊してくれる可能性がある。このプロジェクトは、まず意欲のあるガンダム好きが集まり、その人たちを中心に横展開するのが一番良い。市が音頭を取るより民間活動として、第四北越銀行の私も含め、アイデアを出し合い、市や観光協会に協力してもらおう形でスモールスタートできるのではないかと。この発言がきっかけになれば嬉しい。ぜひ一緒にやりたい。</p>
石川委員	<p>今の話に補足。私の母が富野由悠季監督のデビュー前にアニメ制作と一緒にしていた縁で、私もガンダムが好きなのでコンタクトを取ろうとしたが、無理だった。個人でどこまでやれるかの下地交渉と著作権が問題で、原画展を企画したが、富野監督のお嬢さんから「機嫌が悪すぎて話を受け付けてもらえない」と返信があった。一方、庵野秀明監督はよく新潟に遊びに来ており、私もお会いしたことがある。『エヴァンゲリオン』にもワンシーンだけ大蒲原が出てきた。五泉市は様々なアニメの舞台になっているので、準備委員会</p>

<p>企画政策課 吉井課長補佐</p>	<p>を作り、廃校などを利用して施設を作るのも一つの手ではないか。私も協力したい。</p> <p>5. その他 【資料4】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民まちづくり会議の今後の予定について</li> </ul> <p style="padding-left: 40px;">説明：企画政策課 井上係長</p>
<p>企画政策課 吉井課長補佐</p>	<p>6. 閉会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・閉会のあいさつ（落合企画政策課長）</li> </ul>